

横浜市長

山中 竹春 様

「特別市」の実現に向けた取組の推進について

先般1月20日には、山中市長自ら金沢区にお越しいただき、横浜市が実現を目指す特別市について市長ご自身の言葉で力強く特別市実現の必要性を語っていただいた上での率直な意見交換の場を設けていただいたことに、改めて感謝申し上げます。

二重行政の解消や適切な税制措置など神奈川県と横浜市の間課題を速やかに解決し、特別市を推進していくべきという認識を深める良い機会となりました。

金沢区内には、米軍基地をはじめ、急傾斜地への対応など、現状では市独自では直接解決できない多くの課題があります。市内でも顕著な少子高齢化・人口減少の局面を迎える今、「県と市の二重行政の解消は次世代に先送りすることなく、我々世代が解決していかなければならない」と実感することができました。

特別市の実現に向けては、この制度が県と市の権限争いではなく、税金を有効活用できる効率的な行政運営により市民サービスの向上に大きく寄与することを、市民に正しく理解いただき、共感と協力を得ることが必要です。

我々金沢区町内会連合会も区役所と連携して、地域における理解促進に努めていきますが、横浜市においても市長のリーダーシップのもと、市民への周知を強力に進めていくことを望みます。

また、特別市の早期法制化に向けた国への働きかけや神奈川県との調整もしっかり進めていただきますようお願い申し上げます。

横浜市が将来にわたり、活力を維持し、市民に愛される都市であり続けるために、ともに前進していきましょう。

令和5年2月吉日

金沢区町内会連合会

会長 横井 正 巳

副会長 増田 一 行

副会長 岩崎 建一朗